



あなたの机上へ

性格心理学と児童研究

文學博士 小野島 右左雄著

個性及び性格諸問題について、特に児童を對照として説かれたものである。保姆としての立場から云へば、前半が殊に直接關係深き部であらう。

最初の「態度と性格」の種々相を讀んで見ると、心理的同一事實に對して、世界の心理學者が各々異つた見方をしつてゐるのを知るのも面白い、と同時に自分の組の子供の一人づゝの生活態度が髮髻として思ひ浮ばれる。

次に、著者は、保姆が幼児の精神生活日誌を丹念につける事によつて、個性及び性格を知る最もよい方法であると説かれてゐる。氏獨特の位相觀察法

を讀んで見ると、「若し、根氣よく研究出来る人であるなら唯一人の子供だけに就て一ヶ月位毎日觀察記述すると、

次第に児童そのものゝ興味が起り、自分の考へつゝあつたものと或は一致するに驚き、時に之から可なり偏異するに氣付くこともあらう。若し根氣よく研究出来る場合でも同一児童を一週間も觀察すると可なりの習練が得られるであらう。従來何等の實驗的研究に習練を持たぬ人々は最初數人に就ての記録は放棄する覺悟を持たねばならぬ」と教へられてゐる。これについて、小野島式個性調査表を示されてゐるが、幼児の生活をこゝ細密に記録する表として大いに參考となる。

國語に於ける心理學的な問題につい

ては必讀の要がある。幼児の個性や性格を知る方法として、繪文字や表意文字、音聲文字の研究が説かれてゐるが、就中繪文字發展の段階と、幼児の繪畫の發展との平行については、最も興味ある問題であらう。

この書の後半は心理学一般に關する問題であつて、世界に於ける最近の心理学の諸問題又は現代の心理学の諸相その他であるから、いさゝか専門に互る部である。

この外「學習と性格」、「思想統制の理論」、「體育の心理學的研究の二、三」も特に幼児生活に關連深い記事として讀まれた。

但しこの書は、心理学に相當の造詣を有ち、且つ幼児の實際生活にかなりの經驗を経てから見る時は一層得る所が多い。今少しく易しく書かれたこの種の書が欲しいと思ふ。(中文館書店 定價金貳圓七拾錢) (新庄よしこ)